



常陸大宮市

道の駅基本計画を策定しました！

常陸大宮市では、「道の駅基本構想」（平成24年度策定）を踏まえ、その実現に向けて具体化を図るため「道の駅基本計画」を平成25年8月に策定しました。道の駅基本計画とは、常陸大宮市としての魅力や情報を一元的に取り扱い発信する、シティセールスを行うための場として、さらには災害時、防災拠点としての役割を併せ持つ「道の駅」を整備するため、導入施設、整備内容、規模などを設定したものです。

以下、道の駅基本計画の概要についてお知らせします。

● 地域連携施設（923 m²）

（農産物直売施設・飲食施設・特産品販売施設・加工施設）

- ・ 地場製品の良さや安全性を発信し、生産の拡大を支援するための直売施設
- ・ 市の特産品を積極的に活用した料理を提供する地産地消レストラン
- ・ 地場製品に新たな魅力・付加価値を持たせた製品の製造や販売



● 休憩施設（7,140 m²）

（駐車場・トイレ）

- ・ ゆとりある駐車スペース
- ・ 24 時間利用可能なトイレ



市の魅力を
創造・体感
・発信する
ための場づくり

● 情報発信施設（170 m²）

（休憩スペース含む）

- ・ 道路情報や観光情報の提供
- ・ 「赤ちゃんの駅」の設置



● 交流・体験施設（16,416 m²）

（農園・公園・親水広場・イベント広場・多目的室）

- ・ 収穫体験やもぎ取り販売を行うことができる農園
- ・ 久慈川を眺望でき、水辺の散策などができる親水広場
- ・ 幅広く利用できる半屋外空間としてのイベント広場



● 環境保全機能

- ・ 自然エネルギーの活用

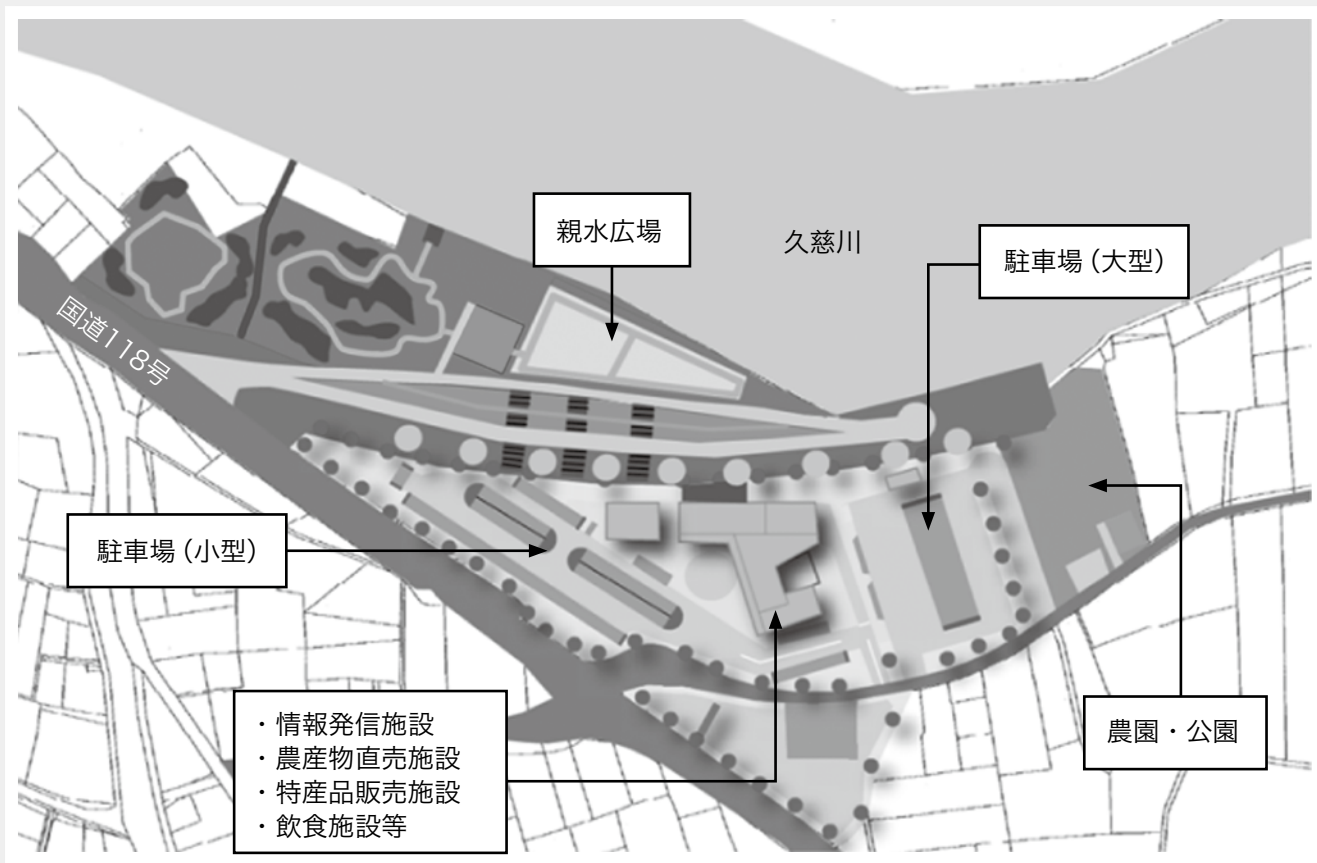


● 防災拠点機能

- ・ 災害時にも機能する設備



※写真はイメージ



※配置計画については、基本設計などを通じて、今後も検討を進めていきます。

建築計画

建物の内部空間（空間計画）や建物形状のデザイン（意匠計画）について、以下のとおり設定します。

●空間計画

- ・隣接する久慈川への眺望を活かし、親水空間への誘導に配慮します。
- ・自然の光や外気を取り入れる工夫などにより自然環境を取り込んだ計画を行います。
- ・利用しやすい施設レイアウトとし、回遊性の高い空間計画とします。

●意匠計画

- ・常陸大宮市の新たなシンボルとして、視覚的にアピールできるデザインとします。
- ・建物の形状は、建設コストへの配慮からできるだけシンプルなものとしします。
- ・誰もが気軽に立ち寄り、安全で安心して利用できるユニバーサルデザインとします。

管理運営の基本方針

道の駅の管理運営にあたっては、収益性の確保、高いコスト意識に基づいた施設運営を行い、広く市民から愛される道の駅となるよう、道の駅の管理運営方針を以下のとおり設定します。

- ・安全で安心して利用できる、誰にでもやさしい道の駅をめざします。
- ・常陸大宮市の「顔」となる道の駅をめざします。
- ・環境にやさしい道の駅をめざします。
- ・一緒に成長していく道の駅をめざします。

道の駅に関するご意見等がございましたら

商工観光課 道の駅整備推進室 ☎52-1111（内線274）までお寄せください。